



6月の集会では「なぜ、私たちは相手を許せない気持ちになってしまうのだろう？」についての意見を募集しました。この前よりは返答数が少なく、なかなか難しい質問だったことが感じられました。そのいくつかを紹介していきましょう。

A 相手がそれだけひどいことをし、人間の本能で、とっさにそういう気持ちになるんだと思います。

B その人に対して小さな恨みを持ち、それを根に持ってしまうので、人を許せなくなってしまう。

C 許せないことを、人が傷つくようなことを平気でするから。

D 相手がなぜそんなことをしたのか理解できないから。相手のしたことに納得できないから。

E やられたくなかったことを相手にやられてしまったから。

F 相手を加害者だと認識するから。

多くの人が「相手がひどいこと、許せないことをした」「相手のしたことが納得できない」という意見でした。

その気持ち、わかります！先生も「なんでそんなこと言う(する)の？信じられない！」という気持ちになったことが何度もあります。その時は「自分じゃなく、そんなことを言う(する)相手が悪い！」って思いますよね。

でも、そうすると、すべて相手のせいということでしょうか。次に違った角度からの意見をいくつか紹介します。

G 自分と他人は、それぞれの意見や考え方が異なるから、その意見の相違で自分が納得することができずに相手を許すことができないんだと思います。

H 人それぞれの考え方があり、これなら許せる、これなら許せないという人間特有の考えがあるから。その人の許せないことを言うてしまうと怒ってしまい、相手を許せなくなってしまう。

J 怒るには時間があまりいらぬが、許すには必ず多少時間があるから。その心の整理に時間がかかってしまうから。

I 相手のことを大切に思っているから。



GさんとHさんの意見は、「相手が」だけではなく、お互いの考え方の違いに目を向けています。確かに……。もしかしたら相手も、自分の言動に「許せない」という気持ちを持っているかもしれません。でも、そうだとすても、それを分かっていたとしても、Jさんの言うように、「許せない」と思ってしまった気持ちを整理するには時間がかかりますよね。

そしてIさんの意見は深いですね。確かに、どうでもいいと思っている相手よりも、大切に思っている人から、自分を傷つけるような言動をされたら、「許せない」という気持ちは、ものすごく高まってしまうような気がします。もしかしたら、「許せない」と思う気持ちは、相手を大切に思っていることの裏返しなのかもしれませんね。